

旭公民館だより

発行 令和7年4月
旭公民館
館長 伊吹 公雄
電話 45-5903
FAX 45-5903

旭寄席 & 地域の話題



開設 20 周年
さんさんサロン中之町
4/14

さんさんサロン中之町（平岡美恵子サロン長）が平成17年4月27日に開設されて、今年で20年を迎えることとなりました。

今回は、記念行事として府中市社会福祉協議会の作成による「20年のあゆみ」と題したスライドショーが上映されました。

53名参加のもと発会式が行われ、今回の参加者は23名ではありましたが、開設当初から地域の高齢者自らが主体となって企画・運営・参加を行い、地域の「憩いの場」として仲間づくりや健康づくりに頑張っておられます。

4月から就任された平岡サロン長も「参加者を増やすためにも、サロンをもっと魅力あるものにしていきたい」と今後の抱負を述べられていました。

なお、4名の功労者に対して感謝状が贈られました。



感謝状を贈呈された4名、左から唐川隆子さん・平岡道敏さん・佐藤玲子さん・唐川開さん



続けていくことの大切さを学ばせてもらいました

第拾四回 旭寄席(6/15) 出演者が決定しました。



毎度おなじみの **笑福亭 恭瓶 (きょうへい)**

桂 三四郎 (さんしろう)

笑福亭 学光 (がっこ)

【桂 文枝 師匠の弟子】

【笑福亭 鶴光 師匠の弟子】

以上お三方です、お楽しみに。

笑うことの効果として、免疫力のアップ・脳の活性化・ストレスの解消などが科学的に証明されています。落語で大いに笑い、心と体をリフレッシュしませんか。

(裏面へ)



「あめほしたまこども園」(近藤玉枝園長)の開園式が4月5日(土)に行われました。これは(旧)中須たま保育園が、広島県から幼保連携型認定こども園の認定を受けて、「あめほしたまこども園」として4月から運営が始まり、新たに開園されたものです。

広谷町に保育園を開所以来、「自立していて、有能で、責任感と他人への思いやりがあり、生涯学び続ける姿勢を持った人間を育てる」ことを目的とした、「モンテッソーリ教育」を主体とする保育を生かし、子どもたちの個性を伸ばす教育を目指してこられました。

40年以上にわたり就学前の子どもたちに幼児教育・保育を提供され、まさに「認定こども園」のさきがけとして頑張ってくれたと思います。

中須保育所と統合し、中須町の現在地に新園舎ができて4年を迎える節目に、今後の園の発展が大いに期待されるところです。

旭公民館活動においても、旭ふれあい祭のオープニングでの園児の遊戯発表や、旭元気もりもり教室生徒と園児との交流会などにご協力をいただいております。旭公民館も一緒になって地域と子どもたちとの交流を深めていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



認定こども園とは

こども家庭庁のホームページから引用

教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。保護者が働いている・いないにかかわらず利用可能で、幼保連携型は、幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能をあわせ持つ単一の施設として、認定こども園としての機能を果たすタイプです。

園名の由来は

あめほしたまこども園開園式 式次第から抜粋

「あめ」は、子どもたちの大好きな「アメ」又、天(あま)ともいい天の恵みを受けて元気にのびのびと成長してほしい。

「ほし」は、夜空に輝く無限の星、夢や希望や幸せを運んでくれる星。例えば、一番星、星に願いを、期待の星、星の王子さまなど、お子様お一人おひとりが普遍的にいつまでも輝き続けてほしいという意味。

「たま」は、園長である近藤玉枝(たまえ)のたまと、「珠(たま)」のようにみんなの心を包み、丸い円満な教育・保育環境を作ること又、安全で安心な理念の中で、たまごがひよこになり大きく成長して立派に飛び立ち、そして一生学びつづけるお子様の教育・保育でありたいという意味を込めている。

